

「大規模画像データに基づく成長予測モデルの構築とその応用」

研究代表者名：明石 良（宮崎大学 理事・副学長）

近年、気候変動に伴い様々な異常気象が世界規模で発生しており、作物への被害が大きな問題となっています。そこで、気候変動に強い作物品種の育成や、事前に収量を予測することで安定的な食料の供給ができると考えられ、世界中で研究が進められております。私たちは、ダイズコアコレクションを異なる環境下で大規模に栽培することで、植物の表現型(P)値、環境要因(E)値を取得し、次世代シーケンサーにより取得した遺伝子型(G)値と合わせて、網羅的な相互作用に基づいたダイズの成長予測モデルを構築しましたのでご紹介いたします。今後、データを継続的に追加することで、より精度の高いモデルになることが期待されます。